

祖国と母国

広辞苑によれば、

祖国：①祖先以来住み来たった国。②国民の分れ出たもとの国。

本国。

母国：①分れ出た国から、もとの国をいう称。②自分の生まれた

国。祖国。——母国語。

ワールド・カップ・サッカーで日本がパラグアイと戦うことになった。すると、記者たちが例によって愚劣で無意味な質問をパラグアイに住む日系人におこなう。**祖国と母国の違い**もわからない連中がはしゃいでいるだけのことで、新聞やテレビなどマス・メディアの記者のレベルの低下が甚だしいと言う人もあるが、そもそも彼らに「レベル」というものがあつたのかね。記者に社会常識とかモラルとかを期待する方が間違っている。

どうも最初に書いた広辞苑の執筆者がわかっていないのではないか。島国である日本に生まれ、ほとんど全員が外国に住むことがない日本においては祖国イコール母国であっても別に支障はない。ところが国策などといいながら、じつは食えないからやむなく外国に移住し、慣れない気候と通じない言葉と荒れはてた耕地（当然初めは瓦礫の山

を肥沃な土地だと騙されている。)に耐えながらその国で生活基盤を作ってきた日系一世にとっては、先祖代々住んできた日本は祖国である。一世がいう、この国には感謝している。日本にいたらその日の暮らしにも困っていただろうが、ここで初めて人並の生活ができるようになった。・・・ところが二世三世になると、はっきりしてくる。基本的には英語なりその国の言葉が話せなかったら仕事にもつけない。普段の生活にも支障を来たすことになる。日本語は家の中だけである。彼らにすれば両親ともに日本人であるが、自分たちの住んできた、あるいは暮らしてきた国は（日本からみたら）外国、この場合はパラグアイであるが、このパラグアイが「祖国」なのであって、だから日本語を話せない、あるいは話さない連中は沢山いる。日本は彼らにとっては「母国」である。そのあたりの用語の使い方が、新聞やテレビのニュースを見る限り、実に雑で無神経なのである。

われわれが子供の頃には「日系二世が軍隊に所属し、日系二世部隊として活躍した」ことを描いた漫画があったのだが、彼らの祖国は日本ではなく、米国なのである。「栄光なき凱旋」（現在は文庫本になっている）はフィクションであるが、日系人の苦悩や憤りや理不尽な差別などがうまく描かれている。当時の資料はいくらでもある。大東亜

戦争中、日本は経済封鎖の対象になり、真珠湾奇襲のあと米国に住む日本人は借地権も財産もすべて奪われて狭い強制収容所に押し込められた、というよりも隔離された。高杉良さんの「祖国へ、熱き心を。——東京にオリンピックを招致した男」であるフレッド和田勇さんの記録にもあるが、彼らが味わった理不尽な差別については、日本人はもっと怒ってもいい。イタリアやドイツ系の人間は隔離されたわけではない。つまり黄色人種である（**黄色いサル**）日本人のみが差別の対象になった。それ以前にも不可解な差別がいくらでもあった。日系人には移民を制限されたり、つまり「人権」がなかったのだ。さらには水源に毒を投げ込まれないかと心配したらしい。（・・・何十年も経ってから謝罪されてもなあ。当時の被害者はすべて亡くなっている。単に選挙のときの一票が欲しいだけやろ）そして若い二世や三世らが、差別や偏見と戦いながら、彼らの「祖国」である米国のために（白人からみれば「日系人は体のいい使い捨てができる」から）苛酷な戦場に投入され、その結果として日系部隊の大活躍になった。白人たちは怖気づいて進軍できないからである。・・・だから「祖国」と「母国」とは異なる意味を持つ、まったく別の言葉である。高杉良さんでさえ用語があいまいなのだから、仕方がないか。

よく似たことを日本人もしてきた。関東大震災のとき、それまで差別し続けてきた朝鮮人が井戸に毒物を投入して日本人に報復すると騒ぎ立て、集団で暴行したものである。これは、普段差別し人間扱いをしてこなかった、自分たちの行為に逆に脅えて騒いだもので（米国も同じ発想である）、このとき横浜鶴見署の署長大川常吉の「彼らが毒を投入したという井戸の水を持って来い。いまからそれを飲んで無毒であることを証明してやる。」と衆人環視のもと 1 升瓶 2 本をゆっくり時間をかけて悠々と飲み干して、無害であることを証明した逸話がある。偉い人はいつの世にもいるし、馬鹿もまた同じ。煽動に慌てて飛び乗り大騒ぎする連中もまた大多数である。・・・もともと冷静にでなくとも考えてみれば自分たちも飲む水を汚染させるはずもないし、第一大地震が発生することを彼らが予知していたというわけでもない。

普段の自らの行動に疚しいことがなければ恐れる必要がないのに、ないものに脅えることになる。・・・先の日本人の隔離も同じ心理が働いている。もともと自分たちが**侵略者**であることを忘れている。

2010.10.10.